NIE実践報告

1．タイトル：☆学校生活をテーマにした新聞記事をつくろう

2．学校名

福井県坂井市立丸岡中学校

3．実践者名（代表者名）

鈴木　将乗

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　30人

6．単元（本時の学習課題）名

身近な地域の調査

7．目標(狙い)

・新聞記事づくりに意欲をもって取り組むことができる。
・新聞記者の方のアドバイスをもとに、読み手の立場に立って新聞記事を書くことができる。

8．評価の視点

○新聞記事の作成を意欲的に行うことができる。
○効果的な情報の伝え方を考えることができる。
○新聞記事の内容を読み手に分かりやすいように書いたり、見出しやレイアウトを工夫することができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

中単元「身近な地域の調査」
小単元　①新聞記事をつくろう（本時）　②地形図の読み取り　③実地調査

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記者の方の説明を聞き、新聞記事の構成や書き方について理解する。（15分）
・新聞記者の方の話をしっかり聞くようにする。
・新聞記者の人に実際の記事をもとに説明していただく。

②「学校生活」をテーマに集めた情報をもとに読み手に分かりやすい新聞記事をつくる。（25分）
・新聞記事の内容を読み手に分かりやすいように書くようにする。
☆新聞記事づくりを意欲をもって取り組むことができたか。

③新聞記者の方のアドバイスを聞き、作成した新聞記事を見直す。（10分）
・生徒が作成中の新聞記事をいくつか取り上げ、新聞記者の人にアドバイスをもらう。
☆新聞記者の方のアドバイスをもとに、読み手の立場に立って新聞記事を書くことができたか。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒は、新聞記事づくりのテーマが「学校生活」なので、意欲的に取り組んでいた。生徒は、休み時間や放課後に現場へ行って調査したり、他の生徒にアンケートしたりした。生徒自らが新聞記者の体験ができて、新聞に対する理解が深まった。

12．成果と課題

生徒は、この活動を通して、新聞記事作成の理解を深め、新聞記事づくりのスキルを高めることができた。しかし、教員の認識として、新聞記事とレポートとの違いを明確にしておく必要があった。新聞記事づくりでは、①現場を調査すること。②なるべく記事に生の声を取り入れたり、リアルタイムな情報を集める必要がある。ということが大切である。以上のことを今後の新聞づくりの授業に活かしていきたいと考える。